

URL:https://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、大町山岳博物館
友の会の支援により博物館が運用しています。

「山と博物館」は自治会などを通じ全戸配布されるほか、市役所および関連施設で配置配布しています。また博物館公式 Web からもご覧いただけます。

## 2020

# 夏号





表紙の1枚		 	 	 • •		• •	٠1
・閑古鳥鳴く	博物館						
企画展特集		 	 	 	. 2	•	3

・「博物学と登山 — 大正登山ブームと信州理科 教育のさきがけ — 」のみどころ

	L
さんぱく研究最前線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・機能から考える花のつくり ― サワギキョウ ―	
山博コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・骨の小話シリーズ①	
付属園だより/博物館のひろば・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
展示・イベントのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1 TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133 ☑ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp





栗林 勇太

「閑古鳥が鳴いている。」ことわざではなく閑古鳥はカッコウのことです。コロナ自粛の最中である5月11日頃から、大町でも鳴き声を聞くようになりました。

このことわざが寂しい様子を表しているのには、カッコウとその仲間の特徴にあるのかもしれません。日本でカッコウの仲間は、夏に静かな野山にわたってきます。カッコウは人里で遠くから声がすれどもなかなか姿が見られず、その仲間のツツドリはひっそりとした山の中で静かに鳴き(写真右上)、同じくなかなか姿を見ることができません。同じく仲間のホトトギスは、漢字で杜鵑と書きますが、この漢字の由来には少し悲しいエピソードがあります。中国の四川省の伝説で、杜宇というおとなしい王様が、恋敵であるやり手の王様に破れ、国を譲り山に隠れ、その山に鵑という鳥がなくことから、人々に「あの鳥は杜宇様の生まれ変わりだ」といわれ杜鵑と呼ばれるようになったというものです。恋に破れてひっそりとした生活を余儀なくされ

た杜宇の姿は、どこかわれわれの自粛生活に似ています。

山岳博物館は、4月19日~6月1日までの休館・休園が決まり、その間の各種イベントも中止・延期となりました。69年の歴史で初めての事態に、ことわざ通り閑古鳥が鳴いています。

ところで、この閑古鳥と呼ばれた鳥は実はほかにもいます。さんぱくのシンボル、ライチョウです。理由は定かでありませんが、富山の立山で閑古鳥と呼ばれた記録がみられます。

さんぱくのライチョウは元気よく鳴いています。今年は1組のつがいで繁殖に取り組んでいます。施設の収容力の問題などから、その他のライチョウは恋の自粛を余儀なくされました。彼らも来年移行の繁殖を忍耐強く待ちながら、力強く鳴いています。

新たに雛が産まれる時期です。閑古鳥の鳴く博物館にお越しください。 (市立大町山岳博物館 学芸員)

- ◆市立大町山岳博物館は、月曜日と祝日の翌日が休館です。ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館となります。
- ◆開館時間は、午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)です。
- ◆毎月第3日曜日の「家庭の日」とその前日の土曜日は、「大町市民無料開放デー(長野県民割引)」として、大町市民の方は観覧料が無料です。また、この日は長野県民の方も団体割引料金で観覧いただけます。今季の該当日は7月18・19日、8月15・16日、9月19・20日です。この機会にぜひご来館ください。
- ◆次の方は通年、いつでも博物館を無料で観覧いただけます。《**障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名/未就学児/** 大町市内小・中学校に通う児童・生徒/大町市内在住の65才以上の方》

このほかにも観覧料の各種割引があります。詳しくは受付窓口でお尋ねください。



博物館施設案内はこちら

企画展特集 会期:7月18日~9月27日

# 「博物学と登山-大正登山ブームと信州理科教育のさきがけ-」のみどころ

悟志

### はじめに

今回の企画展では、大正登山ブームや信州理科教育のさ きがけともなった明治・大正・昭和初期における博物学と 登山のかかわりについてご紹介し、博物学に通じた長野県 内の教諭の士々が残したゆかりの品々約30点を展示しま

ここでは、展示のみどころとして、主な展示コーナーの 概要と、展示資料の一部をご紹介します。

# 博物学と登山

明治維新以降、政府はそれまでの読み書き中心の学習で はなく、野外学習や科学実験などの実践的な教育を取り入 れた新しい学習を全国で展開させました。そうした教育を 修めた明治・大正期の信州の教師たちの中に、動物・植物 や岩石・鉱物などを対象に自然科学の調査研究を行う博物 学の分野において、北アルプスなどの高山に自然科学の未 知なるフィールドを積極的に求め、学術登山を実践する人 びとが現れます。こうした近代的な博物学が普及する以前、 国内では、山野で採取した自然の産物を薬用に活かすため の本草学が展開されてきました。

#### 博物学

博物学とは、動物・植物や岩石・鉱物などの自然物につ いて記載・分類、分析・体系化などを行った総合的な学問 分野です。これから独立して生まれた現在の学問分野であ る生物学や植物学、地質学などが成立する以前の呼称で、 明治期において英語のNatural Historyの訳語のひとつに 用いられたものでした。

#### 学術登山

明治維新以降、一部のいわゆるお雇い(お抱え)外国人 や外交関係者などの外国人たちが盛んに日本の高山を歩き ました。明治維新後、政府は西洋文明の導入によって近代 化を進めます。科学技術を外国から取り入れるため、鉄道・ 電信・造幣など各分野にわたり、諸外国から優秀な人材を 招聘しました。また、外国の各政府から日本へ派遣された 外交官や地質・地理・動物・植物などの調査を行う科学者 のほか、布教活動のために来日する宣教師などがいました。 こうした外国人のなかに、趣味あるいは調査研究を目的に 日本で登山を行った人びとがいたのでした。

さらに、1894(明治27)年に刊行された志賀董第の 『日本風景論』などの書物に影響を受け、日本人の間でも、 山岳美や登山の素晴らしさにひかれる人びとが現れます。 また、1900 (明治33) 年に学生を中心とした「日本博物 学会(のちに日本博物学同志会)」が結成されるなど、この ころから本格的に盛んになりはじめた博物学の分野で、高 山に自然科学のフィールドを積極的に求める者たちが現れ ます。こうした一部青年たちの集まりから発展し、1905 (明治38) 年に東洋における最初の山岳団体として「山岳 会(後に日本山岳会)」が結成されました。

このような国内全体の流れの一方、北アルプス山麓の信 州では博物学を修めた教育者を中心に学術登山による登山 熱が高まりをみせたことは、日本の山岳文化史を語る上で 見過ごすことはできません。

## 大正登山ブーム — 近代登山の隆盛 —

### 学校集団登山の実践

明治・大正初期、信州の教師たちの中に、当時盛んにな りはじめた博物学の分野において、北アルプスなどの高山 に自然科学のフィールドを求め、学術登山を行う人びとが 現れました。同時に、博物学に通じた教師たちが自ら生徒 を引率して、授業での遠足や学校集団登山を実践したこと は、大正期以降の近代登山隆盛のひとつの要因となったと も考えられます。



大町小学校登山隊 白馬岳登山記念 1919(大正8)年 【原資料所蔵:大町市立大町西小学校】

## 信州理科教育のさきかげ - 博物学の士々群像 -



河野齢蔵 渡邊敏 【いずれも原資料所蔵:大町市立大町西小学校】

1883 (明治16) 年に近代登山者として初めて白馬岳 に登った渡邊敏は、近代教育を修めた教師でした。渡邊ら 一行の白馬岳登山は近代登山黎明期における最初期のもの でしたが、当時は一般に広く知られることはありませんで した。その後、1898 (明治31) 年、高山植物採集を目的 とした白馬岳登山を河野齢蔵ら信州山麓の教師3人が行い、 その様子を書物で発表すると白馬岳は全国的に一躍有名に なりました。河野らは1902(明治35)年に「信濃博物 学会」を結成。同会は1919 (大正8) 年設立の「信濃山 岳会」の母体のひとつとなります。同時に、こうした博物 学に通じた信州の教師たちが生徒たちを引率し、授業での 遠足や学校集団登山で北アルプスなど信州各地の山々へ学 校行事として積極的に登りました。

明治・大正期における信州の教育者を中心にした近代登山 をめぐる一連の動きは、大正期に国内で登山ブームを巻き起 こすことになるもうひとつの大きな流れとなったといえます。

本展では、アルプスに自然科学のフィールドを求めて学 術登山を実践し、信州理科教育のさきがけともなった明治・ 大正・昭和初期における博物学の士々として、先に挙げた 渡邊や河野のほかに、田中阿歌麿、矢澤米三郎、保科首助 (号・五無斎)、志村寛(号・烏嶺)をご紹介します。

## 展示資料紹介(一部)

### 渡邊敏記恩碑の拓本 (額装) 大町市立大町西小学校蔵

1920 (大正9) 年、大町時代の教え子たちにより、大町尋常高等小学校(後に移転、現大町西小学校)に渡邊敏の徳をたたえる記憶碑の建立が企画され、翌1921 (大正10)年に行われた序幕式に渡邊は夫妻で招かれ出席しました。現在、この碑は大町西小学校の正面玄関前、庭木に囲まれた一角に建ちます。この拓本は、石碑に刻まれた碑文を写しとったものです。



### 窪田畔夫筆『郡治日録』写し 一般社団法人北安曇教育会蔵

『都治日録』は、窪田畔夫 (本名・重国) が北安曇郡長拝命の通知を受けた1879 (明治12) 年1月3日から1886 (明

治19)年の郡長辞職まで、郡 長在職中の8年間の出来事を 記した日記録です。その中で、 1883(明治16)年8月18 日から22日までの記録に、大 町を出発して渡邊敏らととも に大雪渓から白馬岳山頂まで 登った様子が記されています。



# 田中阿歌麿筆 フランス語の書《パネル写真》【原資料:西山保氏藏】

地理学者で日本の陸水学・湖沼学の先駆けとして知られる田中阿歌麿は、北アルプス山麓にある仁科三湖こと青木湖・中綱湖・木崎湖での湖沼調査では、中綱湖畔築場にかつてあった「和泉屋」を定宿にしていました。

和泉屋を営んでいた築場の西山家には、田中が毛筆でしたためたフランス語の墨書が遺されています。大切に保管されている軸装された一幅の書は、残雪の北アルプス山麓に連なる紺碧の仁科三湖のようすを称えたもので、そのフランス語の筆跡は気品高く味わい深いものがあります。



### 河野齢蔵使用の山高帽 白馬村教育委員会蔵(白馬村歴史民俗資料館展示)

この帽子は河野齢蔵愛用のものと伝わります。

河野は大町小学校(現大町西小学校)時代の1898(明治31)年、33歳のときに自身第1回目となる白馬岳登山を行っています。この登山は高山植物採集を目的とした学術的なもので、



博物学者が白馬岳に登山した最初となりました。

### 矢澤米三郎著書 当館蔵

信州理科教育発展を支えた博物学者・教育者の矢澤米三郎は、 北アルプスなど信州の山岳に関するさまざまな学術研究の成果を数多くの一般書にまとめるなど普及に努めました。



### ライチョウ剥製 大町市立美麻小中学校蔵

この2つのライ チョウの剥製は美麻 小中学校の理科室の 棚に一対で保管され ていた標本です。台 座に貼付されたラベ ルには、科名や学名 とともに「和名らい



てう」「産地 日本北アルプス」と記載されています。明治・ 大正時代以降、学校教材用の剥製標本として北アルプスな どで捕獲されたライチョウが山麓の地元地域だけではなく 全国的にも広く取り引きされていたものと思われます。

#### 保科百助蒐集 長野縣地學標本 大町市立大町西小学校蔵

保科百助は明治期を駆け抜けた唯一無 この奇才と称される 教育者・地質学者。

大町尋常高等小学校時代に寄贈されたこの標本は、1901(明治34)年の保科自身第1回目となる地学標本採集の旅で



集めた岩石・鉱物を整え、1903(明治36)年に長野県下の各種学校に頒布した100組余の地学標本のひとつです。100年以上の時を経て現存する保科頒布の地学標本は限られますが、県内の各種学校に今も残されています。大町市・北安曇郡の大北地域内の小中学校において、その所蔵が確認されているのは、これまでに大町西小学校に残されたこの1組のみです。

この標本は、現在までに理科教材としての利用をほぼ終えていますが、明治期の信州における理科教育の広まりを 今に伝える歴史的価値を有した貴重な品です。

## 志村寛採集の植物腊葉標本 ヒメウメバチソウ(ニシキギ科) 当館蔵

高山植物研究に選進した博物学者・教育者の志村寛。1904(明治37)年8月、志村は自身第1回目となる白馬岳登山において、新種の高山植物2種、ヒメウメバチソウとシロウマオウギを葱平付近で採集しました。この腊葉標本は志村採集によるもので、台紙には「志村発見新種/白馬葱平/ヒメウメバチサウ」と鉛筆で添え書きされています。



### おわりに

山には、自然科学はもとより人文・社会科学のさまざまな分野で探究され得る万事・万象にあふれています。まさに「山の博物誌」といえるそれらの事象について体験的に学ぶことで、過去から現在、そして未来に向けた"北アルプスと私たちとのかかわり"の在り方を考えることができるのではないでしょうか。本展をご高覧いただくことで、山を通じたさまざまな学びのきっかけとなれば幸いです。

なお、本展の開催にあわせ、展示内容を詳しくまとめた展示解説書(部数限定、体裁: A4判・カラー 37頁、価格500円)を編集・発行します。ご希望の方は当館ミュージアムカフェ・ショップ「もるげんろーと」にて販売予定ですのでぜひお買い求めください。

(市立大町山岳博物館 学芸員)

# 機能から考える花のつくり ーサワギキョウー

サワギキョウという植物をご存知でしょうか。花は7月のおわりから8月のなかごろで、見られる場所は湿地です。大町市ですと居谷里湿原や唐花見湿原などで見ることができます。

花にはおもにマルハナバチがやってきます。温原ではトラマルハナバチとオオマルハナバチが花にやってくることでしょう(図1)。マルハナバチには同じ種類の植物の花をめぐり餌を集める習性があり、植物にとっては花粉を運んでもらえるありがたいこん虫のひとつです。



▲ 図1 蜜を吸いにやってきたトラマルハナバチ(左) とオオマルハナバチ(右)



ボタニカルアーティスト 山田恭子さんによる作品



それでは、花のつくりと花粉を効率的に運んでもらうための しくみについて図を見ながらおはなしをしていきましょう。

おしべは筒状で先のあたりに白色の毛の束が下向きにあります。いっぽう、めしべは円柱状になっていて、おしべに格納された状態にあります。めしべの先はおしべの先よりもややびくい位置にあるため、空間ができています。

■ 図2 花のつくり



▲ 図3 花粉が噴出するしくみ

開花すると葯が裂けて空間は花粉でいっぱいになります。 そこにマルハナバチが蜜を吸いにやってくると、毛の束が内側(白色の矢印方向)に押しこまれるとともに(図3-①)、おしべとめしべが持ち上げられ(②)、めしべの先が空間を狭めていきます(③)。毛の束はふたの役目をしていて、内側に押しこまれると、ひらいた状態となり、そこから花粉が噴出します(④)。大切な花粉を確実につけるじつに効率的なしくみになっています(図4)。

■ 図4 正しい姿勢で蜜を吸ってもらうと背面に花 ぶん ぶんしゅつ ひだり ひだり おき おが噴出され (左)、くっつく (右)。 写真はいずれもスジボソコシブトハナバチ。 さんがくはくぶつかん さつえい 山岳博物館にて撮影





しかし、こん虫のなかには、正しい姿勢で蜜を吸わずに、蜜のありかのちかくのすき間からあるいは穴をあけて蜜を吸うものがいて(図5)、この行動は盗蜜と呼ばれます。人からすれば「盗人め、けしからん!」と思われるかもしれません。しかし、この盗蜜には意外な効果がかくされている!とする研究が最近になって発表されています(※1)。

さて、その効果とはどのようなものなのでしょうか。またここではおはなしができませんでしたが、マルハナバチの習性を利用したサワギキョウのかけひきについて、7月~9月の間、博物館2階の「さんぱく研究最前線-北アルプスの自然と人トピックス」のコーナーで、山田恭子さんのボタニカルアートとともに展示しますので、ぜひ、いらしてください。

(市立大町山岳博物館学芸員 千葉悟志)

がたます。 穴をあけて蜜を吸うオオマルハナバチ (上) とすき間から蜜を吸 うミツバチのなかま (下)。

#### 【引用したもの】

※1 松原豊、酒井聡樹「非破壊的な盗蜜が適法訪花者の行動の繁殖に及ぼす影響:サワギキョウでの盗蜜排除との比較から」日本生態学会第64回全国大会(2017年3月、東京)一般公演ポスター発表(P1-B-087)

# 山博コレクション

# 骨の小話シリーズ①

藤田 達也

みなさんは骨と聞いて何を想像しますか?怖い、不気味?いやいや、骨にはたくさんの情報が詰まっていて、動物担当の学芸員にとっては宝物のような存在です。骨を調べていくことで、外観からは分かりえなかった動物の特徴や能力を知ることができ、これまでとは一味違った発見をすることができます。今回は哺乳類の頭蓋骨を題材にして、少しマニアックなお話をしていきたいと思います。

お医者さんや一部の物好きの人以外は驚かれるかもしれませんが、実は哺乳類の頭蓋骨は20個ほどの骨が結合して成り立っています。そして、それぞれの骨の形状の違いにより、動物の行動や能力にも差を生み出しています。

下図は山岳博物館に収蔵されている、ニホンカモシカとツキノワグマの頭蓋骨の写真です。 赤く色付けした部分は頬にある頬骨弓と呼ばれるアーチ構造を示しています。その形が大きく異なることがお分かりいただけますか?





図 1. 上: ニホンカモシカの頭蓋骨 下: ツキノワグマの頭蓋骨

頬骨弓は食べ物を噛む時に働くしい筋などがくっつく部分です。頬骨弓を土台として咬筋が縮むことで下顎が上に引き上げられ、食べ物を噛むことができます。そして、頬骨弓が出っ張ることにより咬筋を収納できるスペースが確保され、結果として強い力を発生させることができます。





図 2. 後頭部から見た咬筋のくっつくスペースの差 (左:ニホンカモシカ 右:ツキノワグマ)

では、なぜ二ホンカモシカとツキノワグマではこのような頬骨弓の形状の違いがあるのでしょうか?それは顎を動かす行為、つまり食べ物に答えが隠されています。 二ホンカモシカは草等を食べる草食動物で、ツキノワグマは硬いドングリや肉を食べる雑食性の動物です。柔らかい草に比べて硬いドングリなどを砕いたり、肉を裂いて食べるツキノワグマは、結果として強い力を発生させるための多くの筋肉を必要とします。これが、両者の頬骨弓の形状の違いを生み出す1つの要因に繋がっているのでした。

骨の形状1つから、その動物の生前の姿や生活をイメージすることができるって、面白くないでしょうか?今回の話で頭蓋骨に対する暗いイメージを少しは払しょくすることができたでしょうか?

まだまだ骨の魅力を語りつくせていないため、次回の 山博コレクションを通して骨マニアを増やせるように頑 張りたいと思います!

(市立大町山岳博物館 学芸員)

# 付属園だより

# 擬卵づくりの裏側

動物飼育員

ニホンライチョウ(以下ライチョウ)は5月中旬から6月中旬にかけて卵を産みます。この頃、飼育員はライチョウが卵を産み始める前までに擬卵を作り始めます。擬卵とは本物そっくりに作られた偽物の卵のことで、親にばれないように本物の卵を採集する時や動物の数が増え過ぎないようにするなど、いろいろな目的で使われます。

現在、中央アルプスには1羽のメスのライチョウが確認されています。しかし、メスだけでは雛が孵化しない無精卵しか産むことができません。そのため、全国の動物園で産まれた有精卵と取り替えて、中央アルプスのライチョウを増やす計画が実施されました。

この計画では博物館も卵の提供を行いましたが、 せっかく産んだ卵がなくなった親は、新しい卵を産 み足してしまいます。これは親に大きな負担をかけ てしまうため、卵が減ったことに気づかれないよう に擬卵を用意しなければいけません。もし気付かれ てしまうと親が怒ったり、本物の卵ごと抱かなくな る危険性もあることから、飼育員は色と形を忠実に 再現するよう心掛けて擬卵作りをしています。

# 擬卵の作り方(簡略版)

※完成まで約1時間かかる細かい作業です。





- 左:本物のライチョウの卵から作った型に樹脂を流し 込み、固めます。
- 右:できた擬卵の基礎に二スの塗布、乾燥、全体の着色、 斑点模様の再現、仕上げ二スの塗布をして完成。

#### 【一口メモ】

親は同じでも卵ごとにやや色味や模様、形が違います。最初と最後に産んだ卵は色が濃くなったりと、卵にも人間と同じようにそれぞれ個性があるようです!

# や博物館のひろば楽

『研究紀要 第5号』を発行しました 令和2年3月31日(火)発行



当館では平成27年度の創刊以来、『研究紀要』を毎年発行しています。本誌では、北アルプスと周辺地域の自然科学、人文・社会科学諸分野の調査研究に関する学術的な成果情報を収録しています。

このたび最新号『研究紀要 第5号 【ライチョウ特集号】』(A4判・カラー 124頁)を発行しました。

本誌は、最新号を含め、過去のバックナンバーを当館公式ウェブサイト上にてオンライン版電子ジャーナル(PDF)として全編公開中ですので、ぜひご高覧いただき、ご活用ください。

**オンラインツアー動画配信しました** 令和2年4月30日(木)



山に関する各種情報を提供する無料動画チャンネル「YAMAP STUDIO」で、山岳博物館の常設展示を紹介するオンラインツアーをリアルタイムで配信しました。

同チャンネルは登山地図アプリ「YAMAP」を運営する株式会社ヤマップが新型コロナ対策として企画し、今年4月に立ち上げたものです。

当館の臨時休館期間中、画面を通じて展示をご覧いただける良い機会となりました。なお、この動画は4月30日のライブ配信以降、現在、アーカイブとして公開中で、無料動画共有サービス「YouTube」で閲覧できます。 【写真は「YAMAP STUDIO」画面他より】

### 信州大学の講義に講師を派遣

令和2年5月21日(木)



大町市と信州大学は連携協定を結び、様々な分野で共同での事業に取り組んでいます。

主に1年生を対象とした一般教養の授業において、学芸員が外部講師として、ライチョウに関する講義を行いました。

ゼミと講義の2コマの授業で、計 110名の学生にライチョウの保全 活動について説明しました。

新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業での試みでしたが、活発な質疑応答があり、新しい教育普及活動の手法を知る貴重な機会となりました。

# 展示・イベントのご案内

# 企画展 博物学と登山

# — 大正登山ブームと信州理科 教育のさきがけ ―

大正登山ブームや信州理科教育の さきがけともなった明治・大正・昭 和初期における博物学と登山のかか わりについて紹介。博物学に通じた 長野県内の教諭の士々が残したゆか りの品々約30点を展示します

- ■期間 7月18日(土)~9月27日 (日)
- ■時間 午前9時~午後5時(入場 は午後4時30分まで)
- ■会場 当館 特別展示室
- ■費用 通常の入館料(常設展と共 通)が必要です

#### 【企画展関連催し】

※新型コロナウイルス感染症の感 染拡大状況によっては予定変更 の可能性がありますので、ご了 承ください。

# ミュージアムガイド

- ■期日 7月19日(日)·8月10日 (月・祝)・9月26日(土)
- ■時間 各日とも

1回目…午前10時30分~ 2回目…午後2時30分~

- ※各回の所要時間は20分程度、午 前・午後とも内容は同じ
- ■会場 当館 特別展示室
- ■内容 学芸員が展示の見どころな どを解説します。
- ※事前申込み不要。当日直接ご参加 ください。ただし、通常観覧料が 必要です

## フィールドワーク

# 「白馬大池登山 – 博物学ゆかりの 現地探訪-」

企画展に関連した現地観察登山。 博物学にかかわる現地フィールドを 学芸員らと一緒にたずねます。白馬 大池など白馬連峰周辺の博物学にち なむ山岳文化史を紹介するととも に、山の地形・地質や高山植物、ラ イチョウなどの動物について解説。 あわせて、長野県山岳総合センター のスタッフが講師として同行し、安 全登山のアドバイスを行います。

- ■期日 7月28日(火)・29日(水) ※1泊2日
- ■時間

集合:7/28(火)午前6時45分 栂池高原駅前

解散:7/29(水)正午頃 同上

- ■場所 栂池高原~白馬大池周辺往 復(白馬大池山荘 泊)
- ■協力 長野県山岳総合センター・ 大町山岳博物館友の会
- ■対象・定員 大人15人(先着順)
- ■費用 15,000円(交通費・宿泊 費・保険料の実費を各自負担)
- ■申込み 当館へ参加希望者の氏名・ 住所・電話番号・生年月日をFAX またはEメールにて
- ※申込受付後、登山歴や健康状態等 を確認する問診書類、持ち物や日 程・行程等を記したしおり等を別 途送付します。

# ワークショップ

さんぱく こども夏期だいがく

# -壜百験

- 山のミニ科学実験教室 -
- ■期日 8月1日(土)
- ■時間 午前9時30分~正午
- ■会場 当館 講堂
- ■協力 大町エネルギー博物館
- ■対象・定員 小学生・30名
- ■内容 大町エネルギー博物館学芸 員を講師に迎えた科学教室。高い 山でおこるふしぎな現象を再現し て、その仕組みのなぞを解き明か します。夏休みの自由研究にも最 適です。
- ■費用 無料
- ■申込み 実施前々日7月30日(木) までに電話・FAX・Eメール、ま たは直接、当館へ

※定員になり次第締め切ります。

## さんぱくゼミナール

# 信州の教育者・地質学者 保科百助

― 明治期を駆け抜けた唯一無二

の奇才 五無斎にせまる -

企画展に関連した講演会です。明 治期を駆け抜けた唯一無二の奇才と 称される信州の教育者で地質学者の 保科百助(号・五無斎)について、 その人物像やエピソード、後世に残 したその功績をお話しいただきま

- ■日時 9月20日(日) 午後1時 30分~3時
- ■場所 当館 講堂
- ■講師 村田長年さん(五無斎保科 百助研究会)
- ■対象・定員 どなたでも・先着50人
- ■費用 無料
- ■申込み 当日までに電話・FAX・ Eメール、または直接、当館へ ※定員になり次第締め切ります。

### 【問い合わせ】

市立大町山岳博物館

電話:0261-22-0211 FAX: 0261-21-2133

Eメール:

sanpaku@city.omachi.nagano.jp ※新型コロナウイルス感染予防の関 係により、予定が変更する場合がご ざいます。あらかじめご了承いただ きますようお願いいたします。

# 人事異動のお知らせ

令和2年4月1日付で、当館職員 に次の異動がありました。

転出 関本 景香 (学芸員)

※大町市文化財センターへ転出

退職 宮野 典夫(指導員)

> 矢野 孝雄(指導員)

多田 晴彦(動物飼育員)

勝一(専門員) 新任 太田

> 下坂 昌幸 (事務員)

秀子(事務員) 降簱

達也(学芸員) 藤田

辰己 萌恵 (動物飼育員)

編集・発行



〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1 市立大町山岳博物館 編集責任者 鈴木啓助 TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133 E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp URL:https://www.omachi-sanpaku.com

2020

発行日 2020 (令和2) 年6月25日

印 刷 有限会社北辰印刷 〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1 TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010